

事業番号	10 08 03	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州型住宅リフォーム促進事業費			担当課	部局	建設部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	建築住宅課		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進		E-mail	<a href="mailto:kenchiku@pref.nagano.lg.jp">kenchiku@pref.nagano.lg.jp</a>		
		3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり 1 地球温暖化対策と環境・エネルギー政策の推進		実施期間	H24 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	県産木材を活用した既存住宅の省エネリフォーム(断熱改修工事)を支援することにより、環境に配慮された良質な住宅ストックの形成とともに、県産木材の利用拡大と地域の住宅産業の活性化を図る。 成果目標:断熱改修工事(窓・壁等の断熱、結露防止工事)実施住宅戸数 平成20年度実績 3,158戸 → 平成29年度 4,800戸(平成20年度の1.5倍) 県産木材を活用した住宅リフォーム件数 平成26年度 170件 移住者のリフォーム工事助成件数 平成24年度 4件 → 平成26年度 10件																													
現状(予算編成時)	○住宅リフォームにおける県産材使用の現状:住宅リフォーム木材使用量に占める県産材の割合は14.7%(H23年度県産材利用実態調査による) ○県産材製品の供給の現状:信州木材認証製品センターを中心に、安全で安心できる製品の製造技術の向上と、住宅への県産材使用に向けた県民等への普及啓発を、さらに進めていく必要がある。																													
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 実施中	【左記の説明、根拠法令等】 ・県産材の利用拡大は市町村単位ではなく広域的な取組が必要 ・社会資本総合整備交付金等を有効活用しながら実施することが効果的																												
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26) ○県産木材を活用した住宅リフォーム件数 平成26年度 170件 ○移住者のリフォーム工事助成件数 平成24年度 4件 → 平成26年度 10件																													
	② 事業内容 (単位:千円)																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H26事業実績</th> <th colspan="2">H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 県産材活用リフォーム助成金</td> <td>補助金・交付金</td> <td>・県産材を活用した住宅リフォームの工事費の一部(20%)を助成(上限30万円)</td> <td>40,800</td> <td>37,550</td> <td>40,800</td> </tr> <tr> <td>2 移住促進リフォーム助成金</td> <td>補助金・交付金</td> <td>・県外から長野県への移住を希望する方の移住先としての空き家の県産材を活用した住宅リフォームの工事費の一部(20%)を助成(上限50万円)</td> <td>4,200</td> <td>5,600</td> <td>4,200</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>45,000</td> <td>43,150</td> <td>45,000</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実施方法	H26事業実績	H26		H27	(当初)	(決算)	(当初)	1 県産材活用リフォーム助成金	補助金・交付金	・県産材を活用した住宅リフォームの工事費の一部(20%)を助成(上限30万円)	40,800	37,550	40,800	2 移住促進リフォーム助成金	補助金・交付金	・県外から長野県への移住を希望する方の移住先としての空き家の県産材を活用した住宅リフォームの工事費の一部(20%)を助成(上限50万円)	4,200	5,600	4,200	合計			45,000	43,150	45,000		
項目	実施方法				H26事業実績	H26		H27																						
		(当初)	(決算)	(当初)																										
1 県産材活用リフォーム助成金	補助金・交付金	・県産材を活用した住宅リフォームの工事費の一部(20%)を助成(上限30万円)	40,800	37,550	40,800																									
2 移住促進リフォーム助成金	補助金・交付金	・県外から長野県への移住を希望する方の移住先としての空き家の県産材を活用した住宅リフォームの工事費の一部(20%)を助成(上限50万円)	4,200	5,600	4,200																									
合計			45,000	43,150	45,000																									

事業	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
		前年度繰越			
予算額	当初予算	50,000	45,000	45,000	45,000
	補正予算	-31,000	10,000	0	
	合計(A)	19,000	55,000	45,000	45,000
	一般財源	11,000	27,500	22,500	22,500
Aの財源	県債				
	国庫支出金	8,000	27,500	22,500	22,500
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	12,777	51,350	43,150	
コスト	概算職員数(人)				
	概算人件費	0	0	0	0
	概算事業費(B(A)+C)	12,777	51,350	43,150	45,000

項目	H25末(実績)	成果目標の達成状況			H27目標
		H26			
		目標	成果	達成状況	
県産木材を活用した住宅リフォーム	208件	170件	168件	未達成	170戸
移住者のリフォーム工事助成件数	9件	10件	14件	達成	10戸

目標に対する成果の状況	県産材活用リフォーム・移住促進リフォームとも好評であり、県産材活用リフォームについてはわずかに目標件数を達成できなかったものの県産材の利用促進と住宅の省エネ化による良質な既存住宅ストックの形成を図ることができた。 移住促進リフォームについては目標を上回り、移住費用の負担軽減により、県外から県内への移住促進に寄与した。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成27年度も予算額を維持して実施 今後も予算確保に努め、住宅の省エネ化や県内への移住の促進を図りたい。
--------------------	--